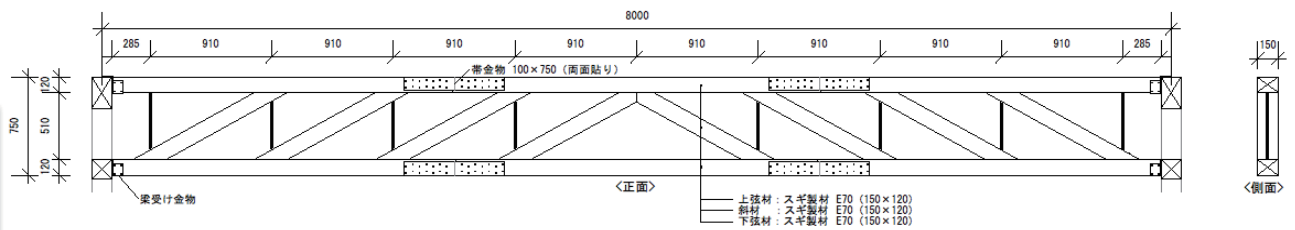


## ● 姿図・寸法



## 【使用材料】

上弦材、下弦材、斜材 150mm × 120mm (スギ E70)

束材 丸鋼 16 φ (SS400)

接合具 弦材継手金物 (JBN)、梁受け金物 (JBN)

## ● 適用条件

束材に引張のみ抵抗可能な鋼材を使用しているため、両端ピンの単純支持梁として使用する。

トラス梁を支持する柱に大きな曲げモーメントを生じ折損させないように、端部では上弦材がピン支持、下弦材は鉛直方向のみ支持とし、スパン方向はローラー支持とする。

梁ピッチは、床合板の割り付けにあわせて 910mm、1200mm 程度とするとよい。

## ● 概要

一般住宅で用いられる構造用製材を用いたトラス梁。引張材となる束材に鋼材を用いている。部材端部加工は、標準的プレカットマシンで加工可能な形状としている。大規模木造建築では、高い水平構面性能が要求され、床面材には多くの接合具 (釘、ビス) が使用されるため、十分な接合幅を確保するために 150 幅となっている。トラス端部は、スパンの調整しろが 250mm (-150mm から +100mm まで) 用意されており、実際のスパンにあわせて現場調整も可能である。

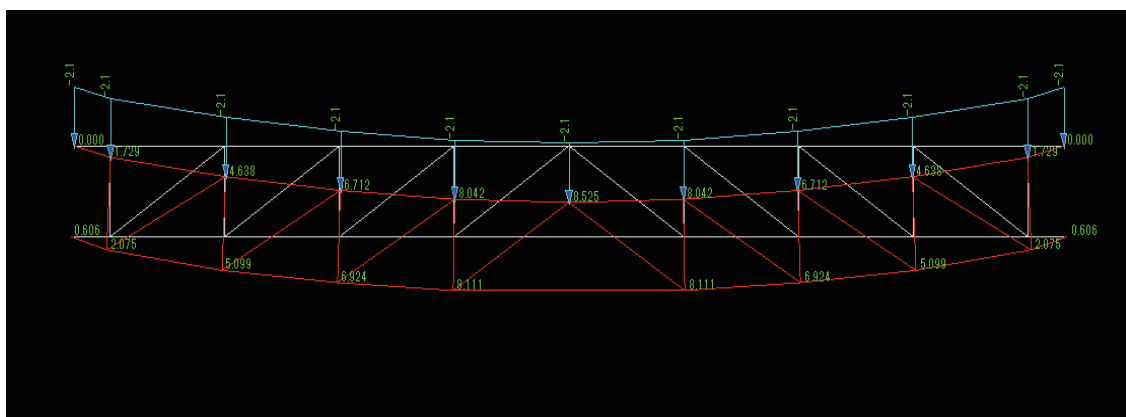
## ● 接合具 (メーカー、入手方法等)

束端部金物 (JBN)、弦材継手金物 (JBN)、梁受け金物 (JBN)

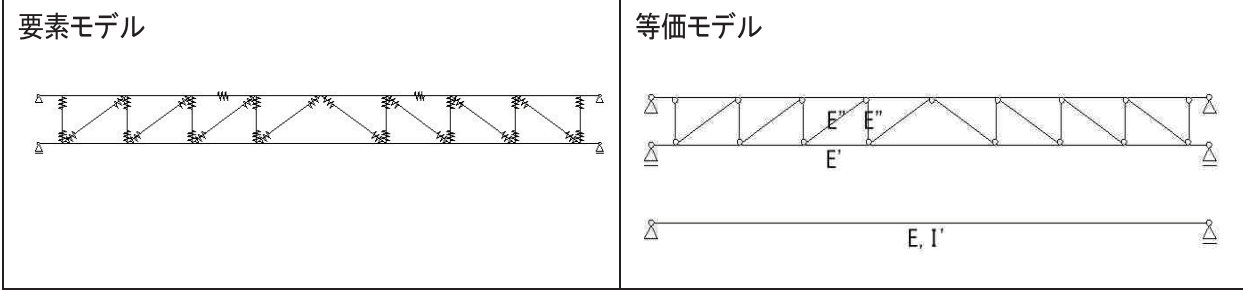
● 問い合わせ先 URL <http://www.jbn-support.jp/>

## ● 理論式

接合部のめり込みによる変形を考慮する必要があり、接合部にめり込みを考慮した軸方向バネを設置するか、部材の軸剛性に接合部のバネと軸材の軸変形を考慮した等価剛性を評価する必要がある。



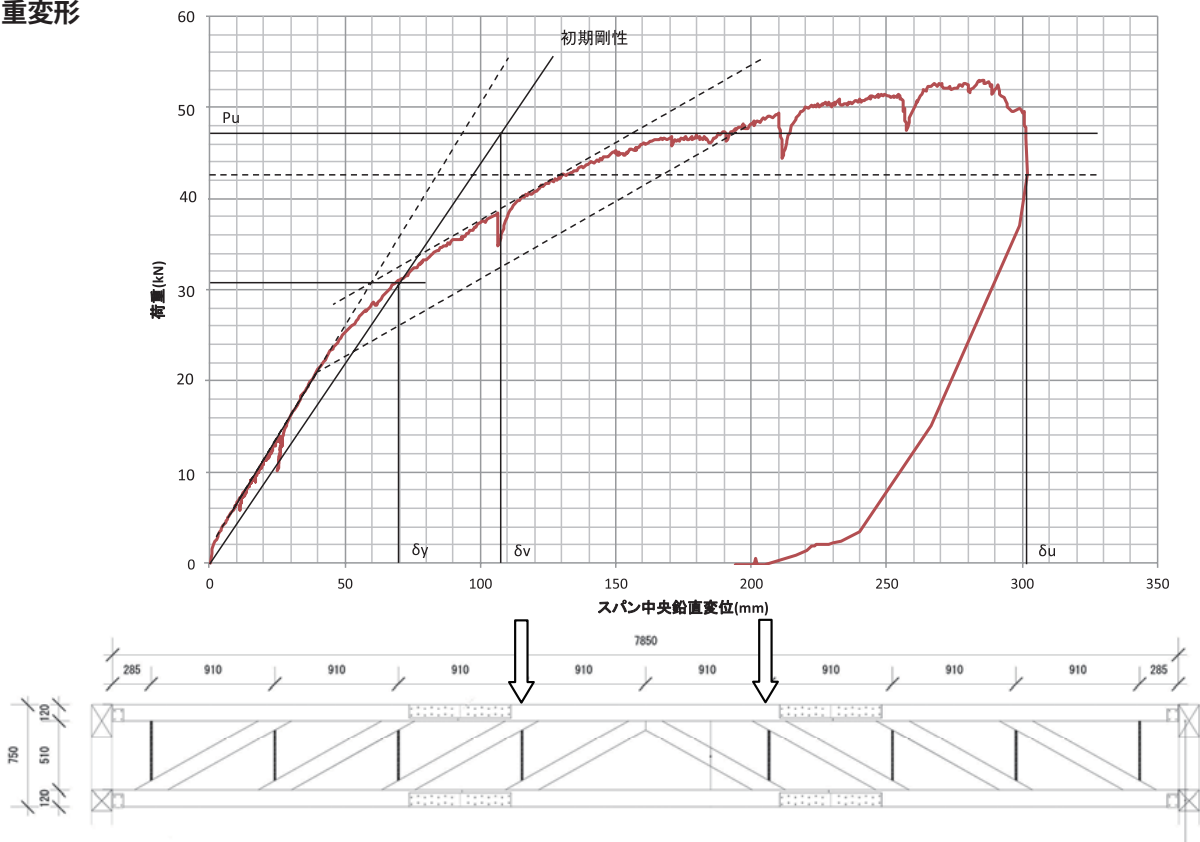
●モデル化



●適用範囲

(単位床面積あたり荷重 (kN/m<sup>2</sup>)) × (負担幅 (m)) ≤ 3.0 (kN/m)

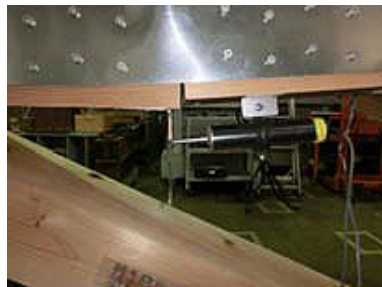
●荷重変形



●破壊性状



束材丸鋼の曲げ損傷



弦材継ぎ手部の損傷



斜材接合部の離れ

要材  
素料

接合  
具

接合  
部

部組  
材立

屋根

柱

梁

ト  
ブ  
スレ

壁

床

集  
成  
材

≡

製  
材

合  
板

そ  
の  
他